

平成 18 年 10 月 20 日

各 位

会 社 名 : 株 式 会 社 エ イ ジ ア
(コード番号: 2352 東証マザーズ)
本 社 所 在 地 : 東 京 都 品 川 区 東 品 川 四 丁 目 12 番 6 号
代 表 者 : 代 表 取 締 役 江 藤 晃
問 合 せ 先 : 取 締 役 経 理 部 長 松 波 敏 郎
TEL (03) 5461-0848 (代 表)

平成 19 年 3 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 12 日付で公表した当期の中間連結業績予想及び中間個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想

(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	350	11	6
今 回 修 正 予 想 (B)	211	84	51
増 減 額 (B - A)	139	73	45
増 減 率 (%)	39.7	-	-
(ご 参 考) 前 期 (平 成 18 年 3 月 期) 実 績	-	-	-

注) 連結は、当期より開始しておりますので、前期実績はありません。

(2) 個別業績予想

(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	350	11	6
今 回 修 正 予 想 (B)	211	81	48
増 減 額 (B - A)	139	70	42
増 減 率 (%)	39.7	-	-
(ご 参 考) 前 期 (平 成 18 年 3 月 期) 実 績	673	111	62

(3) 修正の理由

当社は、e-CRM アプリケーション「WEB CAS」シリーズの企画・開発・販売を行う『ウェブキャス事業』、ウェブサイトの受託開発及び企業業務システムの受託開発を中心とした『ソリューション事業』、及びウェブコンテンツの企画・制作を行う『クリエイティブ事業』の3つを柱とし、事業を運営しております。

また当社は、インターネット・マーケティング・ソリューション（IMS）¹におけるリーディングカンパニーとなることを中長期的な経営目標として掲げております。

当中間会計期間において、『ウェブキャス事業』は、将来を見据えIMS戦略推進の要となる新製品の開発に注力したこと、及び技術要員を当初の予定通りに確保できなかったことなどから、既存「WEB CAS」シリーズのカスタマイズ案件に十分なりソースを充当することができず、引き合いのあった案件の一部を取り込むことができませんでした。

『ソリューション事業』は、一部の案件の第3四半期へのずれ込みに加え、技術要員を当初の予定通りに確保できなかったため、より多くの案件を受託するための体制が十分には整わず、それに伴い外注への依存度も高まり生産性が低下しました。

上記の他、管理体制の充実、企業統治の強化を推進していること、説明型製品²を販売する当社は営業要員の育成に一定の時間を要することなどから、当中間会計期間における売上高、経常利益、当期純利益が当初予想を下回る見込みとなりました。

2. 通期の業績見通しについて

現在精査中であり、平成18年11月14日発表予定の「平成19年3月期中間決算短信」にて公表いたします。

<参考>

平成18年5月12日公表の通期業績見通し

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
連結業績	900	120	65
個別業績	900	120	65

¹ IMS (Internet Marketing Solution、アイエムエス)
e-CRM パッケージソフト「WEB CAS」をコアに、効率的な各種マーケティングサービスをワンストップで提供する当社のビジネスモデル。

² 説明型製品
販売するのに十分な説明や啓蒙を必要とする類の製品で、それらを取り扱う営業要員には高度な商品知識が要求される。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上